

社会基盤メンテナンスエキスパート ME養成講座



岐阜大学工学部附属
インフラマネジメント技術研究センター



岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター (CIAM)

岐阜大学では、既存のインフラ施設に対して適切な診断と処置を行い、かつ戦略的にインフラをマネジメントする技術者であるメンテナンスエキスパート(Maintenance Expert : ME)を養成するために、社会基盤の整備や管理に関係する社会人を対象として社会基盤メンテナンスエキスパート講座(以下、ME 養成講座)を開講しています。このME 養成講座は、岐阜大学大学院の履修証明プログラムとして進められています。

インフラマネジメント技術研究センターは、ME 養成講座の実施をはじめとしてさまざまな活動を行うために、人材育成領域、地域実践領域、国際展開領域の3つの領域から構成されています。



人材育成領域 (教育・人材育成)

- 社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座の運営
- 教育システム展開



地域実装領域 (地域連携・技術開発と普及)

- インフラ維持管理や防災・減災に関する研究開発と技術普及
- 地域ニーズに即した技術としくみの展開



国際展開領域 (インフラ整備・人材育成)

- 人材育成や地域連携の国際展開
- ニーズに即した技術の導入



MEとは？

MEはメンテナンスエキスパート(Maintenance Expert)を略したものです。インフラ施設に対して適切な診断と処置をするために、岐阜大学では平成20年度から「ME 養成講座を実施してきました。4週間の短期集中講座として開講しているすべての講義(1日4コマ~5コマ(1コマ90分)×20日間)を受講し、認定試験に合格したインフラ施設維持管理の高度専門技術者がMEです。平成25年度からは、岐阜大学大学院の履修証明プログラムとして実施しています。

インフラ施設を安全に保つためには、日頃からの点検が不可欠ですが、地域によって自然条件、社会条件は異なり、インフラ施設がもつ性質はさまざまです。また、今後高齢化していくインフラ施設を健康に保つためには、専門家だけでなく、地域の方々の協力が不可欠です。ME 認定者の知識や人的ネットワークである「MEの会」では、岐阜県内を5つの地域部会に分けて、地域に根差した活動を行っています。

社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座

[岐阜大学大学院工学研究科の履修証明プログラム(平成25年度～)]

ME 養成講座 年に2回実施

○前期：6月上旬に開始

○後期：8月下旬に開始

※募集要項などの詳細は、ホームページをご覧ください。

1. 受講対象となる土木技術者

官公庁など：社会資本の維持業務を2年以上経験していること。または同等以上の能力を有していること。

建設業界など：社会資本の点検・調査、構造物の新設・補修・補強に係わる設計・施工管理業務を主体的な立場で3年以上経験していること。

2. 系統立った4週間連続の短期集中プログラム

1日4コマ～5コマ(1コマ90分)×20日間、5科目の講義(1科目16コマ)

「インフラマネジメント」「橋梁の設計・トンネル」「橋梁の維持管理」「地盤と斜面」「土構造物・水道・河川構造物」

3. 全国の一線級の講師(大学教員、行政職員、コンサルタント関係者、建設業関係者など)

4. 全講座を修了すると、岐阜大学より「履修証明書」が授与され、ME認定試験の受検資格を取得

5. ME認定試験に合格すると、岐阜大学よりMEに認定

ME 養成講座修了生 (ME) の声

- 自分の専門以外の分野についても学ぶことができ、知らないことの方が多いことを知りました。
- 広範囲な技術・知識・実技に触れ、吸収しきれないほどの様々な知識・情報の講義でした。いい意味で期待を裏切られました。
- 構造物の劣化原因は複合的であることが多く、対処方法も日進月歩です。役所・コンサル・施工業と様々な立場、様々な年齢の方々と同列に分け隔てなく一ヶ月過ごせたことは大変刺激的で、意見をぶつけ合うことができたのは大変よかったです。
- これからも自己研鑽を続けていこうと心に誓いました。
- 普通では絶対に出会わない人達と出会い、人と人のつながりが貴重な財産となりました。

履修証明プログラムとは

平成19年の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。通常の学生を対象とする学位プログラムに加え、社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラムを開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書を交付できることになりました。

社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)として

1. 岐阜県における「MEの技術力を活用した効率的な維持管理」として、点検・修繕包括業務
2. 岐阜県建設工事総合評価落札方式の加点対象
3. メンテナンスサポーター (MS) の講義
4. 各種技術研修等の講師
5. 同窓会組織「MEの会」

MEの会は、ともに技術と知識を学んだ仲間として、発注者・受注者、職種、年齢などの壁のない技術を核とした人材ネットワークを形成し、インフラメンテナンス技術で社会に貢献します。



1 平成28年度より 国土交通省の技術資格に登録

民間事業者等が付与する「技術者資格」を国土交通省が登録し、社会資本に関する調査・設計等の発注業務で活用する取り組みであり、国及び地方公共団体の業務発注に際し、資格保有者が活用されます。岐阜大学の社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)は、以下の区分に登録されました。

- 点検資格：橋梁（鋼橋）・橋梁（コンクリート橋）・トンネルの点検・舗装・道路土工構造物（土工）
- 診断資格：橋梁（鋼橋）・橋梁（コンクリート橋）・トンネルの点検・舗装・道路土工構造物（土工）

2 平成28年度より 文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」として認定

大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定し、受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的としています。



3 平成28年度より 厚生労働省「専門実践教育訓練給付金」の支給対象として認定

労働者の中長期的なキャリア形成に資するための専門的かつ実践的な教育訓練として専門実践教育訓練の指定を受けた講座受講の支援策です。

文部科学省の「職業実践力育成プログラム」(BP) および厚生労働省の専門実践教育訓練の受講に関する支援は、省庁を横断した就業者支援であり、近年減少している建設関連就業者の増加に資する制度です。これを活用することで、岐阜大学は地域の活性化に貢献します。

MEの活躍の場がどんどん増えています!!

お申し込み・お問い合わせ先

岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター
〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1 TEL&FAX : 058-293-2419
E-mail : kumada.motoko.r3@f.gifu-u.ac.jp

[詳細は、ホームページをご覧ください] <http://www1.gifu-u.ac.jp/~ciam/>